

会 議 録

会議の名称	平成23年度第1健康づくり推進協議会
開催日時	平成23年11月10日(木) 午後1時30分～午後2時50分
開催場所	清須市 新川体育館 大会議室
議題	1. 健康日本21清須計画推進について 2. 清須市健康づくり事業について 3. 「健康づくりをみんなで考える会（ワークショップ）」について 4. その他
会議資料	会議次第 資料1 清須市の概況 資料2 健康日本21清須計画の推進状況について 資料3 平成23年度健康づくりアンケート集計結果 資料4 平成23年度健康清須21推進事業について 参考資料 平成23年度清須市母子保健事業日程表、平成23年度清須市成人保健事業日程表、平成23年度清須市高齢者保健事業日程表、特定健診+がん健診、認知症サポーターフォローアップ研修案内
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、深尾委員、小川(禎)委員、山口委員、太田委員、川島委員、関委員、村上委員、福島委員、奥山委員、伊藤(千)委員、片岡委員(師勝保健所)
欠席委員	小川(久)委員、渡邊(靖)委員、山内委員
事務局	大鐘部長、〔健康推進課〕成田課長、田中主幹、森川課長補佐、武居副主幹、古川係長 〔高齢福祉課〕寺社下係長
会議の経過 《要旨》	<p>1 成田課長あいさつ 師勝保健所長(片岡委員)あいさつ 深尾会長 あいさつ 議事進行につきまして、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。 議事に入る前に、本日の会議録署名委員に関委員と山口委員を指名いたします。 事務局からの説明を受けた後、委員の皆さんにご意見を申し上げます。</p> <p>2 議題：事務局から資料説明 (1) 清須市の概況について(資料1) (2) 健康日本21清須計画推進について(資料2、3、参考資料) (3) 清須市健康づくり事業について(資料4、参考資料)</p> <p>片岡委員：資料1の保健師の配置状況ですが、23年度に人数が減っていますが、どのような理由ですか。</p>

事務局：退職による減です。保健師のみの削減ではなく市全体職員の定数適正化計画に基づいたものです。

小川(禎)委員：がん検診と特定健診を同時実施していますが、受診数の状況はどうか。

事務局：特定健診を集団で実施した人数は、288名増えています。

加藤委員：特定健診受診率は目標数に近づいていますか。

事務局：受診率は約38%で伸び悩んでいる状況です。

加藤委員：北名古屋市は特定健診受診率が低いため、医療機関委託での特定健診とがん検診の同時実施を検討しています。清須市での方針をお聞きしたい。

事務局：子宮がん検診は個別健診を名鉄病院で、女性特有のがん検診推進事業では、乳がん・子宮がん検診の医療機関委託を実施しています。他のがん検診の医療機関委託の実施計画はありません。

小川(禎)委員：特定健診の集団健診と個別健診の比率はどうでしたか。

事務局：平成22年度の実績では、集団検診が4割、個別健診が6割です。

深尾委員長：特定保健指導の状況はどうか。

事務局：特定保健指導対象者が取り組みやすいよう支援していますが修了者が少ない状況です。

村上委員：若年者の健診はどのような状況ですか。

事務局：若年者の健診の正常者は28%です。保健指導につなげるよう教室や相談のご案内をしています。

村上委員：若いうちから健康に対する認識をたかめていただきたいと思います。

深尾委員長：企業での扶養者である家族の健診の受診率はどうか。

村上委員：社員は仕事中に受診するので受診率は高い状況です。しかし家族の健診の受診までは難しい状況です。

山口委員：糖尿病の治療を受けている人は血液検査を受ける前だけ、運動や食事に気をつけています。普段から継続して続けることは難しいです。

深尾委員長：日常生活に気をつけることでヘモグロビンA1cも少し下がってきますが、それを継続することはなかなか難しいですね。

太田委員：主治医に定期的に見てもらっているので、がん検診は受けていないが癌について不安はあります。

深尾委員長：がん検診の精密検査者の状況はどうか。

事務局：約1割の人が精密検査となっています。精密検査を女性は受診されるが、男性は未受診となることが多い状況です。

川島委員：20歳～24歳に「精神・行動の障害」の受診率が第5位とありますが、中学校の不登校が各クラス1名ほどある状況です。スクールカウンセラーや担任の先生が対応していますが、学校以外の場所での支援があると相談しやすいかと考えています。

片岡委員：他の地域でスクールカウンセラーや担任の先生が絶えず連絡会議を行い、きめの細かい対応をしています。保健部局や教育委員会の連携も必要です。アンテナを高くして子どもへの支援、親の負担軽減、学校への支援を実施していくことが必要です。

福島委員：定年退職後、2～3年で死亡する例をよく聞きます。がんは早期に発見し治療することが必要です。

深尾委員長：死亡状況等の統計は、市民に情報として出していますか。

事務局：死亡統計は出していませんが、がん検診でがんが何人発見されたという数を出しています。がんが発見されるのは、継続受診者より初回受診者に多く発見されています。

福島委員：精密検査も何回か受けると慣れてきます。苦しい検査ではない、ということを伝えていくことが大切です。

加藤委員：肺炎球菌予防ワクチンは、以前は接種を希望する人が少なかったがコマーシャルを見て接種を受ける人が増えています。啓発することが動機付けになります。

関委員：高齢者は医療機関で特定健診を受けてもがん検診を受け忘れている人も多い。

事務局：清須市では、がんは集団検診なので医療機関で特定健診を受けられても、がん検診は集団検診で受けていただく状況です。

関委員：胸部検診、インフルエンザ等、高齢者に分かりやすく啓発していただきたいです。個別通知がなくなり、接種を忘れやすいと思います。

事務局：個別通知はなくなっていますが、インフルエンザの接種率は50%です。

福島委員：高齢者インフルエンザの補助はありますか。

事務局：1,000円の自己負担で実施しています。

加藤委員：インフルエンザは高齢者の施設で集団発生すると死亡率が高くなるので、接種が必要です。効果は1回と2回で差がなかったのが1回接種としています。

伊藤委員：中学校の食育を実施しました。地産地消や「1kg減量、1g減量」について一緒に考えました。学校の食育推進事業に関われてよかったです。

奥山委員：春日の中学校でたばこの教室を実施しました。小学校4年生から中学2年生でたばこに興味を持つ前からの実施が大切です。教育委員会への橋わたししていただき、数回実施したいと考えています。

片岡委員：予算も限られるため重点的に清須市の特色を出して保健事業を実施していくのもひとつの方法です。健康について市の姿勢を伝える機会となります。

またポリオの接種はどのような状況ですか。

事務局：多少減っていますが大きな減少ではない状況です。

片岡委員：接種率が落ちるとポリオの発生も危惧されます。ポリオ予防接種の必要性を啓発していただきたいと思います。

福島委員：福島県からの避難されている方は見えますか。

事務局：避難している方はあります。避難者に対し健診や予防接種等、市民と同様に実施しています。

3 「健康づくりをみんなで考える会（ワークショップ）」について（事務局から資料説明）

・次回は平成24年2月16日木曜日午後1時30分～開催を予定

以上

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名します。

署名委員

関 幹 雄 ㊟

山 口 富美代 ㊟

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4056